

12月定例会 一般質問要旨

2次元コードを読み取ると、議員それぞれの全ての一般質問の様子をご覧ください。



本市の次世代で活躍する人材育成教育について



創政クラブ 長 ただすけ

議員 本市では、英語検定3級及び漢字検定3級を受験した市内中学生を対象に、検定料の半額を助成する、検定料助成事業を実施していますが、実施の経緯について伺います。

教育部長 本事業は、市内中学生の基礎学力の向上のために、平成21年度から開始しています。

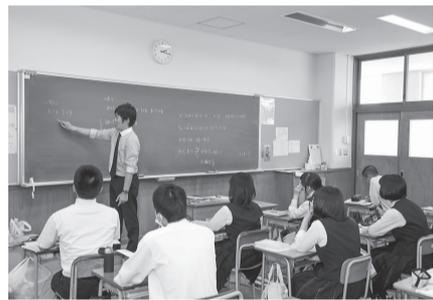
議員 県内では、各種検定料を助成している自治体は少ないものの、実施している自治体では、3級以上もしくは級の指定をしていないところが多く、全国的に見ても同様の状況ですが、本事業の今後の展開について伺います。

教育部長 今後も、現状どおり英語検定及び漢字検定の3級を対象としていきたいと考えております。

議員 本市では、サイエンスアカデミーやプログラミング学校など、次世代で活躍する人材を育成する事業が、近隣自治体に先駆けて実施されています。そこで、数学検定や理科検定などさまざまな検定

を助成対象とすることで、学習意欲の向上、ひいては明日の太田市を支える人材の育成につながると考えますが、市長の所見を伺います。

市長 今後も、サイエンスアカデミーやプログラミング学校を通して、子どもたちのレベルアップを図っていきませんが、その先で何かしたいということであれば、検定試験を受ける、あるいはレベルの高い学校に行くなど、自ら決定していくことが重要だと思います。本事業については、現状どおり英語検定と漢字検定を対象として、次のチャレンジへのきっかけにしたいと考えます。



空き家対策の現状と今後の対応について



創政クラブ 松浦 武志

議員 本市の一戸建て空き家数の推移について伺います。

都市政策部長 平成20年度は2,890戸、25年度は3,730戸、30年度は4,080戸となっています。

議員 空き家の発生抑制につながる住宅リフォーム支援事業補助金について、令和3年度、4年度の交付件数及び交付金額を伺います。

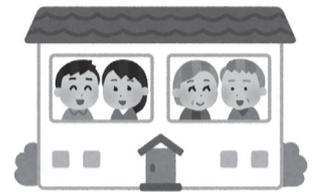
都市政策部長 令和3年度は569件、9,873万4千円、4年度は576件に交付を予定しており、交付予定金額は9,898万5千円となっています。

議員 2世代での同居を考えている人が、既存住宅のリフォームを行った場合にも、本補助金を活用することができるか伺います。

都市政策部長 住宅の内装や構造の改修にあたりますので、補助金の活用は可能と考えます。

議員 2世代での同居を考え、既存住宅のリフォームを検討した場合、費用が高

額となると考えますが、その際の補助金額について伺います。



都市政策部長 他の住宅リフォーム工事と同様に、上限20万円となります。

議員 空き家の発生予防策として、2世代同居を目的に現在住んでいる住宅をリフォームする人に対しては、補助金額を50万円に増額することを提案しますが、市長の所見を伺います。

市長 珍しいケースではありますが、研究材料にはなると考えますので、一度検討してみたいと思います。

■その他の質問

・令和4年度新設組織の現状と今後の対応について



陳情・要望の取り扱いと市区長会について



太田クラブ 神谷 大輔

議員 市区長会議における重点推進項目の設定及び進捗状況を伺います。

市民生活部長 重点推進項目の設定及び進捗管理は行っていませんが、今年度は、「外国人住民との共生」「男女共同参画」「SDGs」の3項目を重点課題とし、勉強会を実施しました。また、区長・区長代理を対象とした研修会も開催しています。



議員 6月定例会では「外国人住民との共生」、9月定例会では「避難行動要支援者個別避難計画の策定と自主防災組織」について、一般質問で取り上げましたが、これらの課題に対する市区長会の取り組みについて伺います。

市民生活部長 外国人住民との共生については、関係課と連携し、外国人住民との意見交換の場を模索しています。避難行動要支援者個別避難計画の策定については、名簿作成における区長・区長代理の役割を確認しました。引き続き、計画策定における区長・区長代理の役割について、関係課と情報共有していきます。また、自主防災組織については、各地区で実施した研修会等の状況を報告し、意見交換を行っています。

議員 市区長会のあり方について、市長の所見を伺います。

市長 行政を運営していく上での積極的な協力者の集団が、区長会であると考えています。地域が自主的に組織した団体ですので、自主的に諸問題を解決し、あるいは決定したことを行政に相談するという関係が望ましいと考えます。

■その他の質問

・古戸町地区のインフラ整備と生活環境の向上に向けた対応について



带状疱疹ワクチン接種の助成について



創政クラブ 高田 靖

議員 本市における带状疱疹ワクチンの接種人数と、接種後の副反応について伺います。

健康医療部長 任意接種のため、全数把握はしていませんが、令和4年9月末時点で、1回接種の水痘ワクチンは65人、2回接種の不活性ワクチンは延べ人数で131人との報告があります。副反応としては、接種部位のかゆみや痛み、発疹、倦怠感等が報告されています。



議員 带状疱疹ワクチン接種のメリットとデメリットについて伺います。

健康医療部長 メリットは、発生予防効果と神経痛予防効果が挙げられます。デメ

リットは、接種費用が1回あたり2~3万円と高額であることです。

議員 带状疱疹ワクチン接種について、65歳、70歳など節目年齢の人を対象とする、または一度発症した人に限定するなど対象者を絞り、接種費用を助成する方法があると考えます。費用が高額であることから、接種を躊躇している人が非常に多く、助成により背中を押してほしいと思いますが、市長の所見を伺います。

市長 国や県と共同で実施していく必要があると考えます。これについては、例えば医師会と話をし、ワクチン接種を必要とする人や既往歴のある人の数などについて、まずは調べていきたいと思ひます。

■その他の質問

・エアリスの小さな森公園の整備について
・太田市美術館・図書館の今後について